

# 私のワールドゲームズ

# 世界とふれ合えた！

世界各国からたくさんの方が集まった貴重な11日間。ボランティアやホストファミリーなどさまざまなかたちで大会に関わり、選手たちと交流を深めたみなさんに、お話を伺いました。



ドイツの選手たちと交流  
(将軍野中体育館で)



## 歓迎ファウストボールチーム ドイツ語も覚えました！

菊池麻維さん(将軍野中3年)

ドイツのファウストボールチームが学校に訪れたのは、試合前日の8月17日。夏休みでしたが私たち約200人の生徒が、選手のみなさんと交流しました。

交流会は、ワールドゲームズ委員22人が、6月から準備を進めてきました。ファウストボールを教えてもらったんですが、バレーボールのルールに慣れている私たちには意外と難しかったです。

競技を教えてもらったお礼に地元の港ばやしや習字、茶道などで歓迎しました。選手のみなさんも大喜びで、初めての習字や茶道に身振り手振りでコミュニケーション。選手の人たちとメールアドレスの交換もしました。試合の応援にも駆けつけて、ドイツが少し身近になったような気がします。



坂本さんとボランティアの皆さん

## ボランティア最高齢！ いろいろな出会いが...

坂本鐵郎さん(73歳)

秋田駅の改札を出たところのインフォメーションブースで一足早く8月1日から、大会の情報や会場の案内などをしました。

ワールドゲームズボランティアの登録をしたのが2年前。一生に一度のいい経験になると思い行動に移しました。もともと「秋田シニアネットワーク」という団体のメンバーとして、同世代の人たちとは活動していましたが、この機会に若い人たちの中に積極的に入っていければと思ったのも参加したきっかけの一つです。おかげで孫の世代の子どもたちともすっかり仲良くなれました。

外国のかたにとって初めて降り立つ秋田の地。楽しい時間を過ごしてもらえるように、道案内一つにしても丁寧に接したつもりです。

## ボランティア体験は 私自身のステップアップ

石井資子さん(短大2年)

私はいま、神奈川の短大で英語を専攻しています。外国への留学も考えて、この機会に外国のかたと交流し、いろんなことを学びたいと思い、夏休みを利用して一時帰省しました。

ワールドゲームズプラザで会場案内やスケジュール進行を英語でアナウンスする仕事が担当。多くのかたにサポートしていただき大変感謝しています。楽しみにしていた開会式やラグビーを、仕事のために見ることができなかったのがちょっと残念…。でも、期間中はとても充実して過ごせました。私にとってのワールドゲームズも大・大・大成功でした！



英語は得意！がんばる石井さん